

## 東京の博物館・美術館を見に行こう 開催



↑ 東京国立博物館を背に記念写真

図書館主催の「東京の博物館・美術館を見に行こう」を1月14日(土)に開催しました。生徒19名、引率2名で東京の「東京国立博物館」「国立西洋美術館」「国立科学博物館」「上野の森美術館」へ行ってきました。

21日連続雨なし晴天だった東京ですが、あいにく前日での記録も切れ、この日は曇りで軽くわか雨が降りました。

水沢江刺駅6時38分発のはやぶさ102号に乗り8時56分に上野駅に着きました。この4つの館は上野公園の中にあり、上野公園は上野駅に隣接しています。上野駅公園口改札を出たところで、公園のおおまかな案内と集合時刻の指示をして、解散、見たい館を選択しての自由見学としました。

東京国立博物館では「150年後の国宝展—ワタシの宝物、ミライの宝物」が開催されていました。東京国立科学博物館は昨年創立150年を迎え、その記念として、館所蔵の国宝を一堂に展示した特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」が開催されたのを受けて、さらに150年後の2172年に国宝としてどんなモノがあり得るかを展望した企画展でした。日本初のコンビニエンスストア「セブンイレブン」、「たまごっち」、携帯電話、ファミリーコンピュータなど、生徒にとってすでに「歴史」になりつつあるものが展示され、その文化的価値を考察したものでした。

国立科学博物館では特別展「毒」が開催されていました。これは、人間を含む生物に害を与える物質「毒」について、動物、植物、菌類、そして鉱物や人工毒など、自然界のあらゆるところに存在する「毒」について紹介されたものでした。

国立西洋美術館では「ピカソとその時代—ベルリン国立ベルクグリュン美術館展」が開催されていました。ベルリン国立美術館所蔵のピカソを中心にクレー、マティス、ジャコメッティの作品を紹介した展覧会でした。また、この美術館の建物は、20世紀を代表する建築家ル・コルビュジエ(仏 1887~1965)が設計したもので、「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」として世界文化遺産にも登録されています。参加者には建築に興味がある生徒もいて、これを見られたことも楽しかったようでした。

上野の森美術館では「兵馬俑と古代中国 ~ 秦漢文明の遺産 ~」が開催されていました。1974年、西安郊外の秦始皇帝陵墓付近で一体一体違う顔をした等身大の人間の像「兵馬俑」が発見されました。戦国、漢時代を含めた総計36体の兵馬俑を中心

に始皇帝の遺物を展示したものでした。

生徒は、それぞれの作品、標本、文化財が本物であることと、その価値の重みやスケールに圧倒されたようでした。また、今まで博物館、美術館を知らなかった生徒にとっては、小学生から大人まで多くの人で込み合い、皆がアカデミックな好奇心を抱きながら目を輝かせていることにも驚いたようでした。

それぞれの館には、お土産を売っているミュージアムショップがあります。展示品をモチーフにした文具、小物、アクセサリ、本、菓子…が販売されており、生徒はこれにも興味津々で、たくさんのお買い物をしていました。

また、上野から東京大学のある本郷は歩いて15分ほどの距離ですが、上野での解散時間のゆとりで東京大学を見ようと「赤門」まで行ってきた生徒もいました(この日は大学入試共通テストであったため、残念ながら構内には入れなかったようです)。

上野で半日を過ごした後は山手線に乗り池袋に移動しました。池袋は、駅前に地下1階から9階まですべて売場の「junk堂書店」、そして本館と別館にまたがって売場のある「三省堂書店」が向かい合って建っています。午後の目的は生徒の皆さんが体験したことがない大型書店に行き、豊富な本に触れることでした。さらにここには西武百貨店、東武百貨店、PARCO、LOFT等があり、生徒の興味関心によりなんでもそろう街です。ここで5時間ほど自由時間としましたが、書店だけでも時間が足りなかったという感想も聞かれましたので、それぞれが有意義に時間を過ごせたようです。

そのほかにも、人の多さや活気さ、山手線の電車が数分おきにやってくること、人込みにいると英語、中国語、韓国語だけでなく様々な言葉が聞こえてくること、街の華やかさ…に驚きや感動を受けたようでした。

帰路は19時40分東京駅発のはやぶさ111号に乗りました。早朝から意欲的にまわり皆疲れたと思いますが、それぞれが夕食に買って来たお弁当やお菓子を食べながら、水沢江刺到着まで楽しそうな会話が続き、22時に水沢江刺駅で解散しました。

## 感想から（一部編集して掲載します）

美術の授業で見たことを生かせればいいと思い参加しました。国立西洋美術館では、知っている作品があり、近くで見られて迫力を感じました。印象に残っていることは、外国人が多くて、飛び交うネガティブな英語を聞いたりして楽しかったです。東京はとてほろほろで行くだけでも気持ちが明るくなりました。

(1年生)

西洋美術館に行き、ロダンの「考える人」を見られたこと、ピカソの絵を実際に見られたことがうれしかったです。今までのピカソの絵のイメージはカラフルで独創的という感じでしたが、展示されている作品の中には白黒のものもあって、鮮やかなものだけでないことを知ることができました。東京国立博物館の「150年後の国宝展」にはゴジラやプリキュア、たまごっちなどが展示されていて、とても楽しかったです。常設展示の方へ行くと、重要文化財がたくさん展示されていて、写真撮影もOKで、とても驚きました。もし、これから先、東京へ行く機会があったら、もう少し時間を多く取ってゆっくり見てみたいです。池袋では、LOFTへ行って、文具や欲しいものを買ったりしました。見ているだけでも楽しかったです。美術館・博物館を観覧している時間、移動時間、自由時間、すべてが楽しい充実した一日でした。

(1年生)

最初に見学した「ピカソとその時代」では、画材の質感や描かれた線一本一本がはっきり見える距離で作品を味わうことができました。その作品がどのような時代に如何なる感情で作られたのかの解説があり勉強になりました。様々な人物画や風景画、楽器や動物画などバリエーションに富んでいて、友達とお気に入りを見つけながら鑑賞できて楽しかったです。ランチは友達とパンケーキ屋さんに入りました。自由行動はワクワクしながら池袋を歩きました。「ジュンク堂書店」はビル全体が本であふれていて、階ごとにジャンル別に本がそろっていました。いろんな本に出会えて、サイン本も買えて大満足でした。価値ある一日でした。

(1年生)

岩手ではできない経験をたくさんできて、とても楽しかったです。3分おきに電車が来るのに座れないくらいに人が乗っていたり、駅ビルで迷ったりして人の多さを思い知りました。ホームが複雑すぎて、私には無理だ！と思いました。住んでいたら適応できるのかな？一日では時間が足りませんでした。実は翌日に部活で盛岡に行ったのですが、今まではとても都会だと思っていた盛岡がさみしく見えました。本当に楽しかったです。

(1年生)

初めて美術館に行って、静かで緊張しましたが、たくさん絵を見て楽しかったし、絵がとても素敵でした。売っていたポストカードやしおりで好きだった絵のものが買えてよかったです。科学博物館の「毒」は、身近にこんなに毒があると知り驚いたし、面白いものもあり、行ってよかったです。ジュンク堂はどんなジャンルの本も揃っていて、近くで売っていない洋書も買うことができうれしかったです。お菓子作りの本もいろいろあって楽しかったです。一日中いたいなあと思いました。

(1年生)

普段あまり行くことがない美術館に行くことができてよかったです。美術館では、多くの作品を見ることができ、好きな絵を見つけることができたのでよい体験になりました。「毒」展では苦手なヘビなどの動物の毒や、身近な毒を楽しく知ることができました。人が多かったのでゆっくり、じっくり見ることはできませんでしたが、とても面白かったです。ジュンク堂では時間がなくてゆっくり見ることはできませんでしたが、興味のある本を見つけて、買うことができて、とてもよかったです。

岩手にない店や、岩手にない規模の店に行くことができ、また、おいしいラーメンを食べることができました。普段体験することがない体験ができ、とても楽しかったです。次回も行きたいです。

(1年生)

3歩歩くらい歩いた。足が悲鳴を上げた。行く前は「英検前なのに、なんで申し込んでしまったのだろう」と悶え苦しんだが、行ってよかった。「毒」展は人が多すぎてあんまりだった。きっと、みんな「毒」を知りたかったのだろう。ハチやヘビの巨大模型はすごかった。「150年後の国宝展」はとてもおもしろかった。

(1年生)

自分一人ではいけないような場所に行くことができてよかったです。「考える人」や「ピカソの絵」を、この目で見られたのがとてもうれしかったです。「毒」についても知らないことが多くあって、勉強になりました。岩手で見たことがない大きな書店や新大久保にも行けてよかったです。

(1年生)

東京国立博物館では、日本の歴史を追いながら教科書に載っているような本物の文化財を見ることができて、本当に感動しました。

(1年生)

初めて絵を鑑賞して感動したので、新しい刺激がありました。書店では欲しい本を見つけて買うことができたので満足でした。本がとても多く、あの日だけでは見られなかったのも、一度行ってみたいです。レストランやカフェの行き方も自分で調べられたし、時間も意識しながら行動したので、自分たちの力で行動する力もついたと思いたいです。

(1年生)

初めて東京の街を歩き回ったが、人の多さにとても驚いた。店に入るのにも並び、会計をするにも並んで、足が疲れた。どこを歩いても店がでかい、道路がでかい！

西洋美術館はピカソの絵をかなり近くで見られた。作品の説明を読んでも、私の知識ではよく分からないことが多く、下調べをしてくればよかったと思った。建物の外にも「考える人」や「地獄の門」など彫刻があって、見ていてとても楽しかった。ミュージアムショップの絵画をモチーフにしたグッズがかわいかった。

東京国立博物館の展示は、入ってすぐゴジラがいてインパクトが大きかった。思わず写真を撮った。プリキュアやキティちゃん、ドコモや湖池屋など、たくさんブースがあって、とてもおもしろかった。

池袋の人の多さは、こことは比べものにならないと感じた。歩くスピードも速い！夜になり暗くなっても人の多さは変わらず、ほんとにたくさんの人がいるんだと実感した。

またこのような企画があったら参加したい。

(1年生)

西洋美術館のピカソの展示で印象的だったのは、年代によって変化していくピカソの描き方だった。はじめは見たままの様子を描いたような絵だった。肌の色から背景までそれぞれがそれぞれを生かすような色合いだった。次に進むと、青で描かれた絵が多く展示されていた。青一色といっても暗さや濃さで光や影があるように見えた。最後は「ピカソといえば…」みたいな作品が展示されていた。それまで静かだった色合いが、黄色や赤など、急ににぎやかになった気がした。

東京国立博物館の「150年後の国宝展」では、私たちの生活に身近な企業の歴史が展示されていておもしろかった。特に、セブンイレブンの展示が印象に残った。歴史だけでなく新しいことに挑戦できるからこそ、長く続いていくのだと感じた。

どこの店も人がたくさんいて、どこに自分の欲しいものがあるのか探すのが大変でした。とても楽しかったです。

(1年生)

最近ではコロナ禍でなかなか遠出もできず、美術館へ行く機会もなかったのも、今回の企画は久しぶりに東京へ行くきっかけになりました。東京の書店はとにかく大きくて全部を回りきることはできませんでしたが、また次の機会にじっくり見たいです。東京国立博物館に行こうと思っていましたが、行けなかったのも、今度は必ず行きたいです。国立西洋美術館は、建物自体も素晴らしく、また、なんと、国語の授業で習った「ジャコメッティ」が展示されていて、本物を見ることができました。また、このような企画を行っていただきたいです。

(2年生)

ずっと見たかった科学博物館の「毒」展を見られてとてもうれしかったです。音声ガイドをしている声優さんのファンだったので、毒についての勉強になっただけでなく、耳がとても幸せな気分になりました。西洋美術館のピカソ展では、現代文の授業の評論でちょうど出ているジャコメッティが展示されていて、びっくりしました。評論で著者がいっていたことはあまり分かりませんが、ジャコメッティの作品のインパクトが強烈だということは実感できました。また、ピカソの作風がピカソの年齢とともに変化していく様子を見るのも楽しかったです。

ジュンク堂は9階まであって驚きました。以前から欲しいと思っていたハードカバーの本を3冊買ったので、帰りは荷物が重くなって大変でした。それでも、買ってよかったと思いました。1冊はすでに読み終わりましたが、査考が終わったらあとの2冊を読みたいです。

池袋のアニメイトにも行きました。休日なので、とても混んでいましたが、好きなマンガのグッズを買えたので満足です。アニメイト周辺には、コスプレをしている日本人も外国人も多くいて、面白い場所だなと思ったし、そのクオリティが高くてびっくりしました。

多くのことを見て、感じて、考えた、よい一日でした。

(2年生)

